

平成24年度決算に係る

定期監査調書

平成25年4月

鳥取県埋蔵文化財センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項 (2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	組織及び業務調べ	1
4	職員の定員、現員調べ	2
5	役付職員の調べ	2
6	主な事業に関する調べ	3
7	収入証紙取扱額調べ	10
8	収入事務処理状況調べ	10
	(1) 分担金及び負担金 (2) 使用料 (3) 手数料	
	(4) 財産収入 (5) 諸収入 (6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	11
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	12
11	不納欠損額調べ	12
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	12
	(1) 負担金 (2) 補助金 (3) 交付金 (4) 委託料	
13	工事請負費調べ	18
14	財産に関する調べ	19
	(1) 公有財産 (2) 金券類の受払状況 (3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	22
	(1) 土地及び建物 (2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	23
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	24
	(1) 職員住宅 (2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	25
19	寄附物件の受納状況調べ	25
20	備品の処分状況調べ	25
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	25
22	埋蔵文化財の調査と研究	26
23	埋蔵文化財保護思想の普及状況	27
24	埋蔵文化財関係職員等の研修	30
25	文化財保護の資料収集及び活用状況	30
26	出土品の整理及び公開状況	30
○	意見、要望等	32

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局(所)名	課名	係(班)名	課の主な所掌事務
埋蔵文化財センター		総務担当	・埋蔵文化財の調査研究に関すること
		企画研究担当	・埋蔵文化財関係職員その他関係者の研修に関すること
		青谷上寺地遺跡調査担当（青谷調査室）	・埋蔵文化財の発掘調査及び保存に係る指導及び助言に関すること
		発掘事業室	・出土品の整理及び公開に関すること
		調整担当	・埋蔵文化財発掘調査に係る記録の収集整理に関すること
		調査担当 （気高調査事務所） （大山調査事務所）	・その他埋蔵文化財の保存及び活用を図るために必要な事項に関すること

4 職員の定員、現員調べ

(平成25年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当 年 該 度	24.4.1 現 在	当 年 該 度	24.4.1 現 在	当 年 該 度	24.4.1 現 在	当 年 該 度	24.4.1 現 在	
定員	29	29	0	0	0	0	29	29	
現員	(1) 27	(1) 28	0	0	0	0	(1) 27	(1) 28	() は育児休業で内数
過不足(Δ)	Δ2	Δ1	0	0	0	0	Δ2	Δ1	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	6	6	0	0	0	0	6	6	一般事務
	4	4	0	0	0	0	4	4	事務補助
	1	1	0	0	0	0	1	1	発掘調査員
	1	1	0	0	0	0	1	1	調査研究補助員

5 役付職員の調べ

(平成25年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	久保 穰二郎	7年 月	
次長	中村 靖浩	1	次長兼総務担当係長
発掘事業室長	山柘 雅美	5	発掘事業室長兼調整担当係長

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要												
<p>青谷上寺地遺跡発掘調査事業</p> <p>決算見込額 46,023千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 18,466千円 一般財源 27,406千円 その他 151千円</p> <p>○将来ビジョン IV楽しむ (1)本件の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国史跡青谷上寺地遺跡を整備・活用していくために必要なデータを得る。 ○遺跡の詳細な内容を確認し、構造や景観などの実態解明を図る。 ○「交易拠点としての港湾集落」の具体像を探る。 <p><参考>青谷上寺地遺跡の発掘調査経過</p> <p>平成10年度から平成13年度まで、山陰自動車道及び県道建設に伴う事前の発掘調査が実施された。その後、国史跡指定に向け遺跡の範囲確認に重点を置いた「第一期調査(平成13年度～平成17年度)」、遺跡の成り立ちと中心域縁辺の様子を明らかにし、周辺関連遺跡の確認を行う事に重点を置いた「第二期調査(平成18年度～平成20年度)」を実施し、現在はこれらの調査を経て、青谷上寺地遺跡が最も栄えた弥生時代後期後葉の集落全体像の解明を目指した「第三期調査(平成21年度～)」を実施している。</p> <p>これまでの調査で、青谷上寺地遺跡の範囲は33haに及ぶことが分かり、中心域とされる4haを含めた14haが平成20年3月28日国史跡として指定(平成22年8月5日追加指定)されているが、発掘調査は全体の1割にも満たない1.9haにしか及んでいない。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○発掘調査</p> <p>遺跡の盛期である弥生時代後期の中心域西側における集落様相解明を目的とした発掘調査を行うとともに、調査状況を公開した。</p> <table border="1" data-bbox="518 1108 1396 1444"> <tr> <td>調査面積</td> <td>225㎡</td> </tr> <tr> <td>調査期間</td> <td>6月11日～12月20日</td> </tr> <tr> <td>調査公開</td> <td>6月12日～12月20日(見学者:延471人)</td> </tr> <tr> <td>現地説明会</td> <td>10月27日(来場者:202人)</td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td>平成24年度発掘調査概要報告</td> </tr> <tr> <td>古環境データの整理</td> <td>青谷上寺地遺跡の古環境を構成する要素の整理と、古環境復原に資するためのデータ収集</td> </tr> </table> <p>○埋蔵環境調査</p> <p>良好に保たれている埋蔵環境を監視するために、地下水観測等を継続して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水位観測 ・水質調査(pH、酸化還元電位、溶存酸素量) <p>○出土品保存処理</p> <p>調査研究や活用を可能とし、後世に引継ぐための恒久的な保存処理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存処理委託(木製品14点、鉄製品8点、青銅製品4点) ・直営保存処理(木製品約1900点) 	調査面積	225㎡	調査期間	6月11日～12月20日	調査公開	6月12日～12月20日(見学者:延471人)	現地説明会	10月27日(来場者:202人)	報告書作成	平成24年度発掘調査概要報告	古環境データの整理	青谷上寺地遺跡の古環境を構成する要素の整理と、古環境復原に資するためのデータ収集
調査面積	225㎡												
調査期間	6月11日～12月20日												
調査公開	6月12日～12月20日(見学者:延471人)												
現地説明会	10月27日(来場者:202人)												
報告書作成	平成24年度発掘調査概要報告												
古環境データの整理	青谷上寺地遺跡の古環境を構成する要素の整理と、古環境復原に資するためのデータ収集												

事業名	概要
(青谷上寺地遺跡発掘調査事業 続き)	<p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>○発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な調査目的である木造構造物を調査するにあたり、想定される構造についていくつかの仮説（モデル）を設定し、それを検証する形での調査方法を工夫した。 ・古代山陰道と考えられる道路遺構の発見が大きく報道され、多数の見学者が見込まれたことから、現地説明会を午前・午後の2回制とした。 <p>○古環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡内の土壌について、堆積のメカニズムを明らかにすることを目的として、従来行っていない新たな分析（※）を業者委託にて行うこととした。 ※土壌サンプルにより、土の由来を調査する。 ・過去の調査で出土した自然遺物（モモの種子）の再検討を行い、その成果を調査研究年報に掲載した。 <p>ウ 成果</p> <p>○発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代山陰道と考えられる道路遺構（8～12世紀）を良好な状態で検出し、青谷上寺地遺跡が弥生時代のみならず古代研究のうえでも重要な遺跡であることが明らかとなった。 ・弥生時代の木造構造物を検出し、盛土を伴う遺構であることが明らかとなった。 ・弥生時代の溝3条を検出し、木造構造物と合わせて、遺跡中心域西側の湿地に対する積極的な土地利用が行われていたことが明らかとなった。 <p>○埋蔵環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水の状況が良好な状態で保たれていることを確認した。 <p>○出土品保存処理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度実施分について、青谷調査室収蔵展示室で公開するだけでなく、県立博物館での展示も行った。 ・次年度以降の調査研究や展示を始めとした活用に資することが可能となった。 <p>○古環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土壌の分析結果から、青谷上寺地遺跡における堆積のメカニズムについて検討する材料を得た。 ・当時利用されていたモモの性状が時期によって変化していった可能性が示されるとともに、基礎データ（計測値）を含めた検討成果を年報上で公開できた。 <p>エ 課題</p> <p>○発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の発掘調査成果を踏まえながら、中心域西側における更なる集落像の解明を目指した調査を継続して行う必要がある。

事業名	概要				
<p>青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業</p> <p>決算見込額 31,478千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 7,580千円</p> <p>一般財源 23,806千円</p> <p>その他 92千円</p> <p>○将来ビジョン IV楽しむ (1)本件の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報を多くの方に知っていただく。 ○情報発信を通じて、出土品の活用と遺跡の持つ重要性や魅力をアピールする。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出土品の調査研究 保存状態が良好な出土品の再整理と調査研究を行った。 <table border="1" data-bbox="496 501 1417 696"> <tr> <td data-bbox="496 501 632 618">木製品</td> <td data-bbox="632 501 1417 618">昨年度刊行した調査研究成果報告書の内容を、分かりやすくまとめたパンフレットを作成した。また、その成果を踏まえたデータベース拡充作業を行っている。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="496 618 632 696">石器</td> <td data-bbox="632 618 1417 696">データベース公開に向けた基礎的研究を継続して行い、玉作関連遺物については、調査研究成果報告書を作成した。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○出土品のレプリカ作製 本州の弥生時代遺跡としては唯一の出土例である星雲文鏡をはじめとして、青銅鏡2点、木製農具1点、骨角器8点のレプリカを作成した。 ○青谷上寺地遺跡弥生講座 青谷上寺地遺跡の最新の調査研究成果について、分かりやすく情報発信した。 <ul style="list-style-type: none"> ・土曜講座（於鳥取市青谷町総合支所多目的ホール） ：6/2、7/28、10/6、12/8、2/16の土曜日 講 師：鳥取県埋蔵文化財センター職員 参加者：延144人 ・青谷上寺地遺跡フォーラム（於ダイキンアレス青谷）：9月29日（土） 「海を渡った鏡と鉄 ～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～」 特別講演：岡村秀典（京都大学人文科学研究所教授） 野島 永（広島大学大学院准教授） 報 告：君嶋俊行（埋蔵文化財センター青谷上寺地遺跡調査係長） 水村直人（埋蔵文化財センター文化財主事） <p>パネルディスカッション コーディネーター：工楽善通（大阪府立狭山池博物館長） パネリスト：岡村秀典、野島永、君嶋俊行、水村直人 参加者：134人</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来、鳥取市青谷町総合支所で開催してきた青谷上寺地遺跡フォーラムを、海の見える研修会場を借り受けて実施した。 <p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○出土品の調査研究 <ul style="list-style-type: none"> ・青谷上寺地遺跡で出土した玉作関連遺物を網羅し、その特徴等を報告書にまとめている。青谷上寺地遺跡が玉の製作や流通における拠点集落であったことが明らかとなり、弥生時代の「ものづくり」や環日本海交流の実態を解明するうえで大きな成果と言える。 	木製品	昨年度刊行した調査研究成果報告書の内容を、分かりやすくまとめたパンフレットを作成した。また、その成果を踏まえたデータベース拡充作業を行っている。	石器	データベース公開に向けた基礎的研究を継続して行い、玉作関連遺物については、調査研究成果報告書を作成した。
木製品	昨年度刊行した調査研究成果報告書の内容を、分かりやすくまとめたパンフレットを作成した。また、その成果を踏まえたデータベース拡充作業を行っている。				
石器	データベース公開に向けた基礎的研究を継続して行い、玉作関連遺物については、調査研究成果報告書を作成した。				

事業名	概要
(青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・木製農工具・漁撈具についての普及パンフレットを作成することで、最新の調査研究成果をわかりやすい形で情報発信することができた。 ・公開中のデータベースに関して、開設当初から継続したアクセスがあり、概ね好評を得ていると考える。 <ul style="list-style-type: none"> 建築部材DB総アクセス数：104,502件（1月末現在） 骨角器DB総アクセス数：42,723件（1月末現在） 金属器DB総アクセス数：29,271件（1月末現在） 木製農工具・漁撈具DB総アクセス数：16,401件（1月末現在） <p>○出土品のレプリカ作製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度及び今年度作製分について、センター実施イベントでの展示や他館への貸出に供することで、多くの方に見ていただくことができた。 <p>○青谷上寺地遺跡弥生講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青谷上寺地遺跡フォーラムは、専門性の高いテーマを扱ったにも関わらず、講師による講演と職員による基調報告を踏まえた上で、外部講師と埋蔵文化財センター職員によるディスカッションを行ったことから、アンケートで概ね好評を得ることができた。 <p>＜アンケートでの主な回答＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代の感覚が伝わってくるような、おもしろいパネルディスカッションだった。 ・スタッフの対応、シャトルバスの運行など企画運営の丁寧さに感動した。 <ul style="list-style-type: none"> ・また、青谷上寺地遺跡出土鉄器に加え、鳥取県内出土の主要な青銅鏡の展示をおこなったことも好評であった。 ・海の見える研修会場で開催したことにより、地元開催という趣旨を踏まえつつ、参加者の皆さんに、「海をわたってきた遺物」というテーマをより具体的にイメージしていただくことができた。 <p>エ 課題</p> <p>○出土品の調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出土資料の追加など、公開中のデータベースを拡充していく必要がある。 ・木製祭祀具や楽器をはじめとした木製品についても、詳細な調査研究に着手する必要がある。 ・専門的な調査研究成果を、分かりやすく説明し理解を深めていただくための新たな普及啓発資料を作成する必要がある。 <p>○青谷上寺地遺跡弥生講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜講座の内容を拡充するとともに、フォーラムで扱うテーマについても十分に検討し、青谷上寺地遺跡の魅力を更に情報発信していく必要がある。

事業名	概要
<p>鳥取県の考古学情報発信事業</p> <p>決算見込額 10,650千円</p> <p>(財源内訳) 国庫支出金 3,209千円 一般財源 7,422千円 その他 19千円</p> <p>○将来ビジョン Ⅳ楽しむ (1)本件の豊かな歴史、自然・環境、食、文化等を知り楽しむとともに、地域において自分の存在や役割に手応え・充実感が感じられる「価値実感生活」の実現</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民の方々に鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信する。 ○埋蔵文化財センター等に保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用し、児童・生徒をはじめとする県民の方々に郷土の歴史や地域の埋蔵文化財への認識を深めていただく。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○展示見学活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展」の開催 ・「とっとり発掘物語展」の開催 ・「埋蔵文化財センター常設展」の開催 ・埋蔵文化財センターでの見学・体験学習への対応 ・「埋蔵文化財センター古代祭り」の開催 ・出土資料等の再整理・復元・公開 「26 出土品の整理及び公開状況」(p.30・31)のとおり ○「古代歴史への誘い」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講演の実施(文化財主事による鳥取県の考古学情報発信) 「23 埋蔵文化財保護思想の普及状況」(p.28)のとおり ○「こども考古学教室」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「こども考古学教室－弥生の音色－」の実施 「23 埋蔵文化財保護思想の普及状況」(p.28・29)のとおり ○市町村等への支援 <ul style="list-style-type: none"> 「26 出土品の整理及び公開状況」(p.30～32)のとおり ○普及資料刊行事業 <ul style="list-style-type: none"> 「23 埋蔵文化財保護思想の普及状況」(p.27・28)のとおり <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>当センターを会場に開催した「埋蔵文化財センター古代まつり」において、昨年度以上に体験コーナーを増やすなど充実を図った。また、日南町教育委員会と共催で「とっとり発掘物語展」を開催し、地域の歴史を展示を通して情報発信した。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 多くの方々に、気軽に埋蔵文化財の展示を見てもらい、郷土の文化財への関心を喚起する機会を提供できた。 出土品に触っていただくタッチングコーナーは延べ12時間にわたって開設し、521人の方に体験していただくことができ、好評を博した。 ○「とっとり発掘物語展」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 日南町教育委員会と共催で開催し、1,147人の来場者を得るなど、好評を博した。 また、日南町の「にちなん町民大学」と連携講座を計画し、計4回の講演会を実施した。

事業名	概要												
(鳥取県の考古学 情報発信事業 続き)	<p>○「埋蔵文化財センター古代まつり」の開催 県民の方々に考古学や埋蔵文化財を身近に感じてもらうため、模擬発掘体験コーナーやパズル土器コーナーなどの体験型イベントを用意し、約400人(昨年度比約130名増)の方々に体験していただくことができた。</p> <p>○鳥取県の考古学情報発信「古代歴史への誘い」 出前講演では、多くの質問があるなど鳥取県の埋蔵文化財に関心を持っていた。</p> <p>エ 課題 「展示見学活用事業」において、展示会などでは前年よりも見学者等の数が増えている。他方、当センターへの見学・体験学習者の数は微増はしているが、更に、学校等へ当センターの利用をより一層働きかける必要がある。 (当センターへの見学・体験学習者数)</p> <table border="1" data-bbox="486 745 1289 864"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見学者数</td> <td>491人</td> <td>516人</td> <td>567人</td> <td>682人</td> <td>673人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※H24は、1月31日現在</p>	年 度	H20	H21	H22	H23	H24	見学者数	491人	516人	567人	682人	673人
年 度	H20	H21	H22	H23	H24								
見学者数	491人	516人	567人	682人	673人								
埋蔵文化財専門職員 研修事業 決算見込額 400千円 (財源内訳) 一般財源 400千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 ○県内の埋蔵文化財担当者等を対象として、埋蔵文化財の発掘調査を迅速かつ適正に進めるための研修を行い、発掘調査の実施に必要な専門知識と技能の習得及びその向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 「24 埋蔵文化財関係職員等の研修」(p.30)のとおり</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点 埋蔵文化財担当職員のニーズに即するため、「遺物調査検討課程」では、最近出土することが多い木製農具にスポットをあて研修会を企画した。</p> <p>ウ 成果 ○遺跡調査検討課程 調査方法の習得を行うとともに、調査内容の検討や問題点の共通認識が得られた。</p> <p>○遺物調査検討課程 県内の主だった弥生時代の木製農具を集め、多くの木製農具を観察したり、講演、事例発表を聞くことにより発掘調査に必要な出土品の知識を高めることができた。</p> <p>エ 課題 より多くの埋蔵文化財担当職員が参加できるように、参加しやすい日程やカリキュラムとなるよう検討するとともに、埋蔵文化財担当職員のニーズに即したテーマとなるよう検討することが必要。</p>												

事業名	概要
<p>受託発掘調査事業</p> <p>決算見込額 543,579千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>その他 (国委託費) 542,076千円</p> <p>(その他) 1,503千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 一般国道9号(山陰道)の改築に伴い、遺跡の記録保存を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 国土交通省から委託を受けて発掘調査(発掘調査総面積33,052㎡)を実施し、適切に調査記録を作成した。</p> <p>「22 埋蔵文化財の調査と研究」(p.26~27)のとおり</p> <p>○一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査: 4遺跡(下甲退休原第1遺跡ほか) ・報告書の刊行: 3冊(樋口西野末遺跡ほか) <p>○一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査: 1遺跡(西坪中中畝遺跡) ・報告書の刊行: 1冊(豊成叶林遺跡ほか) <p>○一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う発掘調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査: 1遺跡(会下・郡家遺跡) <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ゲリラ雷雨の発生が多くなっていることから、携帯電話サービスによる雷雨警報に加え、局地的な雷の接近を知らせる「ストライクアラート」を導入して、落雷に遭遇しないよう改善に取り組んだ。</p> <p>ウ 成果 現場の文化財主事が避難のタイミングを的確に把握することができ、発掘作業員を適切に避難させることができた。</p> <p>エ 課題 平成24年度で名和淀江道路・中山名和道路関連の現地発掘調査を全て完了させることができた。平成25年度で、報告書作成・刊行などを行い、名和淀江・中山名和道路関連事業を完結させる必要がある。 また、山陰道の早期開通のために、引き続き鳥取西道路関連の発掘調査を進捗させる必要がある。</p>

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成24年12月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
行政財産使用料		(電柱用地使用料)	4	18,000	18,000	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則、 鳥取県行政財産 使用料条例	
		(土地・建物使用料)	4	2,255,911	2,255,911	0	0		
		(駐車場使用料)	422	898,000	893,000	0	5,000		
		(その他)							
		計(節)	430	3,171,911	3,166,911	0	5,000		
		目計	430	3,171,911	3,166,911	0	5,000		
		合計	430	3,171,911	3,166,911	0	5,000		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

(平成24年12月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
物品売払収入			85	508,450	508,450	0	0	県刊行物作成要領	書籍販売代金
			85	508,450	508,450	0	0		
		目計	85	508,450	508,450	0	0		
		合計	85	508,450	508,450	0	0		

(5) 諸収入

(平成24年12月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
発掘調査受託 事業収入	発掘調査受託 事業収入		3	123,397,700	123,397,700	0	0	発掘調査委託契約書	山陰道建設に係る国 交省からの受託分
	目計		3	123,397,700	123,397,700	0	0		
雑入	雑入		1	1,914	1,914	0	0	行政財産許可証	行政財産使用に係る 光熱水費等負担分等
	目計		1	1,914	1,914	0	0		
	合計		4	123,399,614	123,399,614	0	0		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(平成24年12月31日現在)
(単位：円)

収入科目(節)	収入済額	備考
物品売払収入	508,450	書籍販売代金
合計	508,450 (85件)	

イ つり銭の状況

(平成24年12月31日現在)

つり銭の有無	無	つり銭の額(円)	0
--------	---	----------	---

9 収入未済額調べ

該当なし(使用料 4,000円：平成25年1月9日、1,000円：平成25年1月16日 収納済)

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成24年12月31日現在)
(単位:円)

予算科目(目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額(円)	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
埋蔵文化財センター 一費	円 2,878,000	鳥取市青谷町総合支所施設維持管理負担金	鳥取市	17.6%外	24.7.27外	1,024,077	鳥取市青谷町総合支所経費の負担割合等に関する協定	
支出金額が10万円未満のもの						95,690		
目計						1,119,767		
合計						1,119,767		

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4)委託料

(平成24年12月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了			支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間		契約形態	年月日	区分	年月日	金額		
													変更契約(最終)	
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡地下水位 観測業務	(株)ウエスコ 鳥取支社	1,785,000	(H24.4.1) 1,260,000	H24.4.1 ~ H25.3.31	H24.3.28 (免除)	-	-	-	-	-	-	
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡出土遺物レ プリカ作製業務	(株)丹青社	2,229,255	(H24.5.22) 1,396,500	H24.5.22 ~ H24.9.21	H24.5.18 (免除)	H24.9.21	H24.9.21	精	H24.10.10	1,396,500		
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡第14次調 査前測量業務	アサヒコンサルタン ト(株)	230,000	(H24.5.25) 105,000	H24.5.25 ~ H24.7.13	H24.5.24 (免除)	H24.7.9	H24.7.10	精	H24.7.20	105,000		
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土金属 製品保存処理業務	(株)吉田生物研究 所	514,500	(H24.6.6) 472,500	H24.6.6 ~ H25.2.28	H24.6.4 (免除)	-	-	-	-	-	-	
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土木製 品保存処理業務	(株)葵文化	1,684,716	(H24.8.6) 1,470,000	H24.8.6 ~ H25.3.21	H24.8.6 (免除)	-	-	-	-	-	-	
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡出土玉作 関連遺物石材産地分析業 務	(有)遺物材料研究 所	1,397,130	(H24.8.9) 1,397,130	H24.8.9 ~ H24.12.10	H24.8.8 (免除)	H24.12.10	H24.12.10	精	H24.12.19	1,397,130		
文化財保護費	単県	青谷上寺地遺跡出土遺物 (木製品)レプリカ作製業務	(株)文化財ユニオ ン	747,100	(H24.11.26) 462,000	H24.11.26 ~ H25.3.22	H24.11.21 (免除)	-	-	-	-	-	-	
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡出土試料 種実同定業務	(株)パレオ・ラボ	965,700	(H24.12.3) 605,640	H24.12.3 ~ H25.3.1	H24.12.3 (免除)	-	-	-	-	-	-	

予算科目 (目)	国単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日)				契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
					契約額	契約期間							
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡第14次調査土層断面剥ぎ取り業務	(株)スタジオ三十三	472,500	(H24.12.4) 415,800	H24.12.4 ~ H24.12.17	H24.12.4 (免除) 随	H24.12.17 H24.12.17	精	H24.12.25	415,800		
予定価格が20万円未満のもの											0		
目計											3,314,430		
埋蔵文化財センター費	単県	鳥取県埋蔵文化財センター清掃業務	鳥取商事(株)	1,792,506	(H23.4.1) 1,200,150	H23.4.1 ~ H26.3.31	H23.3.8 (免除) 指	H24.4.23外 H24.4.23外	精	H24.5.30 外	266,696	平成23~25年度 債務負担行為 設定済	
埋蔵文化財センター費	単県	鳥取県埋蔵文化財センター警備業務	山陰警備保障(株)	456,000	(H23.3.8) 283,500	H23.4.1 ~ H26.3.31	H23.3.2 (免除) 随	H24.4.30外 H24.5.1外	精	H24.5.31 外	63,000	平成23~25年度 債務負担行為 設定済	
埋蔵文化財センター費	単県	鳥取県埋蔵文化財センター秋里分室警備業務	山陰警備保障(株)	285,000	(H24.4.1) 272,160	H24.4.1 ~ H26.3.31	H24.3.27 (免除) 随	H24.4.30外 H24.5.1外	精	H24.5.30 外	90,720	平成24~25年度 債務負担行為 設定済	
埋蔵文化財センター費	単県	鳥取県埋蔵文化財センター積善分館警備業務	セコム(株)	226,800	(H24.4.1) 176,400	H24.4.1 ~ H26.3.31	H24.3.27 (免除) 随	H24.4.30外 H24.5.1外	精	H24.5.30 外	58,800	平成24~25年度 債務負担行為 設定済	
埋蔵文化財センター費	単県	鳥取県埋蔵文化財センター自家用電気工作物保安管理業務	(株)NTTフアシリ ティーズ中国	618,000	(H24.4.1) 617,400	H24.4.1 ~ H26.3.31	H24.3.27 (免除) 随	H24.4.10外 H24.4.10外	前	H24.4.27	308,700	平成24~25年度 債務負担行為 設定済	
埋蔵文化財センター費	単県	鳥取県埋蔵文化財センター敷地内除草及び剪定業務等	(有)徳田造園	1,399,000	(H24.6.15) 1,018,500	H24.6.15 ~ H24.10.31	H24.6.6 (免除) 指	H24.8.4外 H24.8.9外	精	H24.11.8	1,024,800		

予算科目 (目)	国庫 単 別の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
埋蔵文化財 センター費	単県	産業廃棄物処分業務	三光(株)	497,532	(H24.9.10) 52.5/kg他	~ H24.11.30	H24.9.6 (免除)	H24.10.9	精	H24.10.22	480,207		
埋蔵文化財 センター費	国補	パズル土器制作業務委託料	株式会社スタジオ 三十三	675,150	(H24.5.10) 656,250	~ H24.7.20	H24.5.9 (免除)	H24.7.18 H24.7.18	精	H24.8.8	656,250		
埋蔵文化財 センター費	国補	写真資料デジタルデータ化 業務	総合商社A.T.C.秀 NOW	430,048	(H24.6.15) 333,912	~ H24.7.31	H24.6.15 (免除)	H24.7.26 H24.7.26	精	H24.8.13	333,912		
埋蔵文化財 センター費	単県	『鳥取県の考古学 第6巻 古代・中世・近世』版下デザ イン制作	中央印刷株式会社	774,900	(H24.10.17) 435,750	~ H25.1.24	H24.10.12 (免除)	— —	—	—	—		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	赤坂小丸山遺跡方眼測量 業務	西谷技術コンサル タント(株)	433,541	(H24.4.6) 367,500	~ H24.5.12	H24.4.3 (免除)	H24.5.10 H24.5.10	精	H24.5.21	367,500		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内上ノ段大ブケ遺跡基 準点測量及び方眼測量業務	サンイン技術コン サルタント(株)	1,029,326	(H24.4.6) 976,500	~ H24.5.12	H24.4.3 (免除)	H24.5.10 H24.5.10	精	H24.5.21	976,500		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内ウルミ谷遺跡方眼測 量業務	(株)ヨナゴ技研コ ンサルタント	810,844	(H24.4.6) 294,000	~ H24.5.12	H24.4.3 (免除)	H24.5.1 H24.5.1	精	H24.5.11	294,000		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下用退休原第1遺跡方眼測 量業務	有限会社 マツモト サニペイコンサル タント	719,546	(H24.4.9) 630,000	~ H24.5.19	H24.4.9 (免除)	H24.4.26 H24.4.26	精	H24.5.9	630,000		
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	発掘調査員派遣業務委託 料(中山名和)	(株)イビノク島 営業所	5,505	(H24.4.1) 5,460	~ H25.3.31	H24.3.28 (免除)	— —	精	H24.5.28 外	13,498,485	単価契約	

予算科目 (目)	国補単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	赤坂小丸山遺跡第1回調査 後航空写真撮影業務	写測エンジニアリン グ(株)鳥取支店	/	(H24.6.8) 420,000	H24.6.11 ~ H24.6.24	H24.6.7 (免除) 随	H24.6.20 H24.6.20	精	H24.6.29	420,000	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	赤坂小丸山遺跡基準点測 量及び方眼測量業務	サンイン技術コン サルタント(株)	/	(H24.8.16) 273,000	H24.8.20 ~ H24.9.14	H24.8.9 (免除) 随	H24.9.11 H24.9.11	精	H24.9.19	273,000	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下甲退休原第1遺跡方眼測 量業務	(株)アーステクノ	/	(H24.8.24) 630,000	H24.9.3 ~ H24.9.28	H24.8.23 (免除) 随	H24.9.26 H24.9.26	精	H24.10.3	630,000	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	赤坂小丸山遺跡第2回調査 後航空写真撮影業務	写測エンジニアリン グ(株)鳥取支店	/	(H24.10.19) 417,900	H24.10.22 ~ H24.11.4	H24.10.18 (免除) 随	H24.11.2 H24.11.2	精	H24.11.26	417,900	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	赤坂小丸山遺跡調査後地 形測量業務	(株)大地企画	/	(H24.10.24) 1,575,000	H24.10.26 ~ H24.11.30	H24.10.23 (免除) 指	H24.11.30 H24.11.30	精	H24.12.10	1,575,000	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内上ノ段大ブケ遺跡調 査後地形測量業務	権コンサルタント (株)	/	(H24.11.14) 976,500	H24.11.19 ~ H25.1.31	H24.11.14 (免除) 随	- -	-	-	-	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内ウルミ谷遺跡調査後 地形測量業務	(株)日化技研	/	(H24.11.15) 1,575,000	H24.11.19 ~ H25.1.31	H24.11.14 (免除) 指	- -	-	-	-	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内ウルミ谷遺跡調査後 航空写真撮影業務	(株)開発コンサル タント	/	(H24.11.16) 422,100 (H24.11.22) 422,100	H24.11.26 ~ H24.12.9 H24.11.26 ~ H24.12.23	H24.11.15 (免除) 随	H24.12.21 H24.12.21	精	-	-	
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	殿河内上ノ段大ブケ遺跡調 査後航空写真撮影業務	(株)エイテック 鳥 取支店	/	(H24.11.16) 420,000	H24.11.26 ~ H24.12.9	H24.11.15 (免除) 随	H24.12.5 H24.12.5	精	H24.12.18	420,000	

予算科目 (目)	国単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	契約年月日) 契約額	契約期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下甲退休原第1遺跡調査後 航空写真撮影業務	サイトウコンサルティング 社(株)	472,500	(H24.11.15) 420,000	H24.11.20 ~ H24.12.6	H24.11.15 (免除)	H24.11.30	精	H24.12.10	420,000		
							随	H24.11.30					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下甲退休原第1遺跡自然科 学分析(テラ分析)業務	株式会社 火山灰 考古学研究所	1,515,885	(H24.12.19) 780,150	H24.12.19 ~ H25.2.28	H24.12.17 (免除)	-	-	-	-		
							随	-					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	下甲退休原第1遺跡自然科 学分析(放射性炭素年代測 定)業務	(株)加速器分析研 究所	1,275,750	(H24.12.28) 630,000	H24.12.28 ~ H25.3.15	H24.12.28 (免除)	-	-	-	-		
							随	-					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	西坪中中畝遺跡基準点測 量及び方位観測量業務	中部技術コンサル タント(株)	1,305,028	(H24.4.9) 1,155,000	H24.4.9 ~ H24.5.12	H24.4.3 (免除)	H24.5.11	精	H25.5.21	1,155,000		
							指	H24.5.11					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	発掘調査員派遣業務委託 料(名和淀江)	(株)トワエンジ ニアリング	5,505	(H24.4.1) 5,250	H24.4.6 ~ H25.3.31	H24.3.28 (免除)	-	精	H24.5.28 外	13,019,996	単価契約	
							限定公募	-					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	西坪中中畝遺跡調査後地 形測量業務	(有)マツモトサー ベイコンサルタント	1,578,584	(H24.11.15) 1,365,000	H24.11.20 ~ H24.12.20	H24.11.14 (免除)	H24.12.18	-	-	-		
							指	H24.12.18					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	西坪中中畝遺跡調査後航 空写真撮影業務	写測エンジニアリン グ(株)鳥取支店	420,000	(H24.11.16) 417,900	H24.11.20 ~ H24.12.6	H24.11.15 (免除)	H24.12.6	精	H24.12.18	417,900		
							随	H25.12.6					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	会下・郡家遺跡調査前航空 写真撮影業務	(株)イビノク 広島 営業所	997,500	(H24.6.15) 388,500	H24.6.18 ~ H24.7.1	H24.6.14 (免除)	H24.7.5	精	H24.7.18	388,500		
							随	H24.7.5					
埋蔵文化財 センター費	国委 託費	会下・郡家遺跡(A区)調査 前測量業務	鳥取県土地改良事 業団体連合会	751,604	(H24.7.3) 451,500	H24.7.9 ~ H24.8.31	H24.6.29 (免除)	H24.8.31	精	H24.9.5	451,500		
							随	H24.8.31					

予算科目 (目)	国補単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金納 付等年月日)	完了 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日)				契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
					契約額	契約期間							
埋蔵文化財 センター費	国委託費	会下・郡家遺跡(B・C区)調 査前測量業務	(有)アイワエンジ ニアリング	665,083	(H24.9.30) 210,000	H24.10.9 ~ H24.11.2	H24.9.27 (免除)	H24.11.2	精	24.11.9	210,000		
埋蔵文化財 センター費	国委託費	発掘調査員派遣業務委託 料(鳥取西)	(株)大地企画	5,505	H24.10.2 3,150	H24.10.5 ~ H24.12.28	H24.10.1 (免除)	-	精	H24.11.16 外	952,087	単価契約	
埋蔵文化財 センター費	国委託費	会下・郡家遺跡調査後航空 写真撮影業務	(株)開発コンサル タント	420,000	(H24.11.16) 417,900	H24.11.28 ~ H24.12.16	H24.11.15 (免除)	H24.12.7	精	H24.12.17	417,900		
埋蔵文化財 センター費	国委託費	会下・郡家遺跡(A・B・C区) 調査後地形測量業務	(株)開発コンサル タント	1,308,376	(H24.12.6) 1,260,000	H24.12.10 ~ H25.2.28	H24.12.5 (免除)	-	-	-	-		
予定価格が20万 円未満のもの											1,052,437		
目計											41,270,790		
合計											44,585,220		

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成24年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町宮下1260番地	5,720.49	70,500,864	増加	H					H	5,720.49	70,500,864	
					減少	H					H			
	埋蔵文化財センター 秋里分室	鳥取市商業町390番地	5,722.00	—	増加	H					H	5,722.00	—	
					減少	H					H			
	埋蔵文化財センター 美和調査事務所	鳥取市源太12番地	6,085.00	—	増加	H					H	6,085.00	—	鳥取湖陵高等学校旧美和分校
					減少	H					H			
合計	埋蔵文化財センター 積善分館	鳥取市国府町宮下1262番地	9,407.14	—	増加	H					H	9,407.14	—	旧積善学園
			26,934.63	70,500,864	減少	H					H	26,934.63	70,500,864	

イ 建物

(平成24年12月31日現在)

行政 普通財産 の 区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況								備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	埋蔵文化財センター	鳥取市国府町 宮下1260 番地	1,419.26	—	増加	H						1,419.26	—	
					減少	H								
	埋蔵文化財センター 秋里分室	鳥取市商栄町 390番地	1,895.00	6,600,000	増加	H						1,895.00	6,600,000	
					減少	H								
	埋蔵文化財センター 青谷調査室	鳥取市青谷町 青谷667番 地	39.83	5,993,400	増加	H						39.83	5,993,400	
					減少	H								
	埋蔵文化財センター 美和調査事務所	鳥取市源太 12番地	1,273.00	—	増加	H						1,273.00	—	鳥取湖陵高等 学校旧美 和分校
					減少	H								
埋蔵文化財センター 積善分館	鳥取市国府町 宮下1262 番地	2,099.19	—	増加	H						2,099.19	—	旧積善学園	
				減少	H									
合計			6,726.28	12,593,400							6,726.28	12,593,400		

ウ 山林

該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成24年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		差 引	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手類及び郵便はがき	円 83,290	円 509,700	円 507,660	円 85,330	
収入印紙	0	1,500	1,500	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	83,290	511,200	509,160	85,330	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成24年12月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		差引未使用枚数
	購 入 枚 数	使 用 枚 数 及 び 金 額	
27枚	0枚	0枚 0円	27枚

(3) 債 権

(平成24年12月31日現在)

債権の名称	前年度末		本 年 度 中				差 引		備 考
	金 額	件 数	増		減		金 額	件 数	
			金 額	件 数	金 額	件 数			
行政財産使用料	円 57,000	4	円 0	0	円 18,000	2	円 39,000	2	
合 計	57,000	4	0	0	18,000	2	39,000	2	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成24年12月31日現在)

行政財産 普通財産 の区分	貸付 (使用許可) 目的	所在地	数量 又は 面積	貸付 (使用許可) 年月日	当初貸付 (使用許可) 年月日	貸付 (使用許可) 期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料 (現在高)	住氏 所名		
行政財産	電力供給事業	鳥取市国府町宮下 1260番地	電柱4本 支柱2本 支線2本	H23. 1. 31	H13. 3. 19	H23. 4. 1 ~ H28. 3. 31	月額・年額 12,000	12,000	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長		
	ケーブルテレビ 設備設置	鳥取市国府町宮下 1260番地	珪鉛メッキ 鋼管柱1本	H24. 3. 9	H17. 12. 27	H24. 4. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 0	0	鳥取市尚徳町116番地 鳥取市長		
	電力供給事業	鳥取市国府町宮下 1262番地	電柱1本 支線1本	H20. 4. 1	H20. 4. 1	H20. 4. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 3,000	3,000	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長		
	電気通信線設 置	鳥取市国府町宮下 1262番地	本柱1本	H20. 4. 1	H20. 4. 1	H20. 4. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店長		
	電力供給事業	鳥取市商栄町39 0番地	支線1本	H22. 2. 16	H17. 3. 14	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31	月額・年額 1,500	1,500	鳥取市新品治1番地6 中国電力(株)鳥取営業所長		
	防災無線野外 拡声子局	鳥取市源太字廿日割 90番地	15m柱 1本	H20. 4. 25	H20. 4. 25	H20. 4. 25 ~ H25. 3. 31	月額・年額 0	0	鳥取市尚徳町116番地 鳥取市長		
	駐車区画	鳥取市源太12番地	30㎡	H24. 4. 23	H24. 4. 23	H24. 5. 1 ~ H24. 11. 30	月額・年額 3,239	3,239	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	駐車区画	鳥取市源太12番地	10㎡	H24. 4. 23	H24. 4. 23	H24. 5. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 1,690	1,690	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	駐車区画、濾 過装置及び貯 蔵水槽置場	鳥取市源太12番地	369.4㎡	H24. 4. 1	H24. 4. 1	H24. 4. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 76,880	76,880	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	水槽置場	鳥取市源太12番地	72㎡	H24. 8. 21	H24. 8. 21	H24. 9. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 7,702	7,702	鳥取市源太12番地 (財)鳥取県教育文化財団理事長		
	合計							107,511			

イ 建物

(平成24年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)の目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料(現在高)	住氏	所名	
行政財産	ろうあ団体活動拠点	鳥取市国府町宮下1262番地	40.00㎡	H24. 3. 5	H21. 4. 1	H24. 4. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 0	0	鳥取市扇町21(県民ふれあい会館内) 鳥取県ろうあ団体連合会長		
	事務室・倉庫・整理作業室	鳥取市源太12番地	459.4㎡	H24. 4. 1	H21. 3. 31	H24. 4. 1 ~ H25. 3. 31	月額・年額 2,166,400	2,166,400	鳥取市源太12番地(財)鳥取県教育文化財団理事長		
合計								2,166,400			

(2) 物品

該当なし

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

(平成24年12月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地	12.5	4,000
	鳥取市源太12番地	12.5	1,000

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増	当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免	0人		うち減免	0人			
4月	13人	0人	0人	37人	0人	50人	104,000円		
5月	50	0	0	0	0	50	104,000		
6月	50	2	0	1	0	49	100,000		
7月	49	1	0	1	0	49	97,000		
8月	49	0	0	0	0	49	97,000		
9月	49	0	0	0	0	49	97,000		
10月	49	0	0	1	0	50	98,000		
11月	50	0	0	2	0	52	100,000		
12月	52	1	0	2	0	53	101,000		
1月	-	-	-	-	-	-	-		
2月	-	-	-	-	-	-	-		
3月	-	-	-	-	-	-	-		
合計							898,000	893,000円	5,000円

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

(平成24年12月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度			備考
					稼働 日数	(1ヶ月平均) 走行キロ数	修理費等	
軽四輪 貨物自動車	13	鳥取41 い1891	保管換14年4月1日 H13.8.30	85,286	169	(532) 4,788	定期点検等 74,708円	青谷調査室
軽四輪 貨物自動車	13	鳥取41 い1954	保管換14年4月1日 H13.8.31	81,944	101	(268) 2,412	定期点検等 14,805円	青谷調査室
合計		2台					89,513円	

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成24年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数	取得価格 円	不 用 定 年 月 日	不 用 と す る 理 由	処 分				備 考
							売払 棄却 の別	売払方法 ・ 棄却理由	処 分 年 月 日	売払額・ 処分費用 円	
チェストフリーザ (三洋電機 SCR-R65 1N)	1	H15.12.12	年 15	197,400	H24.11.29	使用不能	棄却	修理不可	H24.11.29		
録音機 (シャープ MDホータブル レイヤ-MD-MT831S)	1	H12.3.6	5	30,975	H24.11.29	使用不能	棄却	修理不可	H24.11.29 耐用年数 経過		
合計	2			228,375							

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

2.2 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積 調査期間	内容・成果等
青谷上寺地遺跡 (鳥取市青谷町内)	弥生時代後期の中心域西側における集落様相の実態解明	225㎡ 6月11日 ～12月20日	盛土を伴う木造構造物と溝3条を検出し、中心域西側の低湿地における土地利用が活発に行われていた状況が判明した。また、古代「山陰道」と考えられる奈良～平安時代の道路遺構を検出し、本遺跡が弥生時代のみならず古代を研究する上でも極めて重要な遺跡であることが明らかとなった。
下甲退休原第1遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	7,143㎡ 4月11日 ～12月20日	約15,000年前と約30,000年以上前の旧石器が出土した。約15,000年前の旧石器群は、ソフトローム層から出土した。約30,000年以上前のは、ソフトロームより下層の白色ロームから出土した石器群であり、県内最古の石器群である可能性がある。 その他、縄文時代の落とし穴27基や弥生時代の竪穴住居跡1棟を確認した。
赤坂小丸山遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	2,000㎡ 4月9日 ～11月16日	平安時代の製鉄炉とともに、砂鉄(原料)置場、製鉄炉から流れ出た不純物(鉄滓)を捨てる排滓場、製鉄炉の材料である粘土を採掘した穴、当時の道を確認し平安時代の「製鉄場」のようすが具体的に分かる発掘調査成果を得た。
殿河内上ノ段大ブケ遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	4,314㎡ 4月9日 ～12月9日	縄文時代晩期に流れていた自然河川内から土器や石器が大量に出土した。住居跡などの生活に関する施設は確認していないが、近隣に縄文時代晩期の集落跡が存在する可能性がある。
殿河内ウルミ谷遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	8,063㎡ 4月9日 ～12月20日	約3万年以上前の旧石器時代の石器や製作屑が出土しており、遺跡の近辺で石器を製作していた可能性がある。 飛鳥時代～奈良時代に斜面を造成した平坦地を確認した。この斜面下の谷で、同時期の須恵器窯の存在を示す須恵器や窯の一部が出土したことから、この平坦地は須恵器生産に関係する作業領域であった可能性がある。 また、中世の鍛冶に関連する遺物が廃棄された状態で大量に出土しており、鍛冶炉は残っていなかったものの中世には鍛冶を行っていたことが分かった。
西坪中中畝遺跡 (西伯郡大山町内)	一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	6,680㎡ 4月11日 ～11月30日	調査地のほぼ全域に縄文時代の落とし穴42基が分布しており、当時狩猟の場であったことが明らかとなった。落とし穴の平面形状は、3種類(円形・楕円形・方形)あり、作られた時期によって、形状が異なる可能性がある。 また、奈良時代に鍛冶を行ったと考えられる掘立柱建物跡を確認した。
会下・郡家遺跡 (鳥取市気高町内)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	4,825㎡ 7月19日 ～12月20日	平安時代の掘立柱建物跡6棟分を確認した。 これらの掘立柱建物跡は建物の規模が大きく配置に規則性が見られること、また、役所

		<p>などの限られた場所でしか出土しない緑釉陶器が多数出土したことから、平安時代の役所に関連した施設が存在していたと考えられる。</p> <p>このような建物群が用地内にさらに存在することは確実で、重要な遺跡であることが判明した。</p>
--	--	---

(2) 出土品の調査研究

○青谷上寺地遺跡出土品の調査研究

青谷上寺地遺跡で出土した玉作関連遺物について再整理を行い、データベースを作成するとともに、調査研究成果を報告書に取りまとめた。

2.3 埋蔵文化財保護思想の普及状況

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂（3月末配布）

市町村単位で遺跡地図の更新（年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録）を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布。

イ 「とっとり考古学紀行」（年3回、夏号、秋冬号、春号各20,000部）の発行

県内外からの観光客に県内の考古学に関する最新の情報を提供するためのリーフレットを夏号、秋冬号及び春号の3回発行し、県内の文化観光施設、旅館組合及び道の駅等に配布。

ウ 「普及パンフレット」の刊行

出土品調査研究の成果をわかりやすく解説した「青谷上寺地遺跡の木製農工具・漁撈具」を作成した（10,000部、無償配布）。

エ 図書の刊行

名称	内容等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告52 青谷上寺地遺跡出土品調査研究報告9 玉・玉作関連資料	青谷上寺地遺跡出土の玉及び玉作関連資料の調査研究成果をまとめた。県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	500部	H25 3月末 刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告53 緑土塗布の盾復原製作	青谷上寺地遺跡から出土した、東アジア最古の緑土使用例である木製盾の復原製作の記録。緑土に関する自然科学分析の成果も収録。県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	100部	H25 3月末 刊行
青谷上寺地遺跡調査研究年報2012	平成24年度に実施した青谷上寺地遺跡の発掘調査成果の概要をはじめ、青谷上寺地遺跡に関連した調査研究の成果を収録。県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	500部	100部	H25 3月末 刊行
鳥取県の考古学 第6巻 古代・中世・近世	県内の古代～近世の遺跡を写真図版等を使い、分かりやすく紹介。県内の各学校、図書館等に配布。	1500部	500部	H25 3月末 刊行

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書48 一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔樋口西野末遺跡Ⅱ〕	国土交通省からの委託を受けて平成23年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	290部	0部	H24 10月 刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書49 一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔下市築地ノ峯東通第2遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成22年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	295部	0部	H25 3月 下旬 刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書50 一般国道9号(中山名和道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔石井垣上河原遺跡、赤坂頭無し遺跡〕	国土交通省からの委託を受けて平成23年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	292部	0部	H25 3月 下旬 刊行
鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書51 一般国道9号(名和淀江道路)の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書〔倉谷西中田遺跡Ⅱ、倉谷荒田遺跡Ⅱ、豊成叶林遺跡、豊成上神原遺跡Ⅱ〕	国土交通省からの委託を受けて平成23年度に実施した発掘調査成果をまとめた。 県内外発掘調査機関、県内図書館などに配布。	292部	0部	H25 3月 上旬 刊行

オ ホームページでの遺跡情報発信

遺跡の発掘調査や出土品・展示会の情報を逐次発信している。

カ 鳥取県の考古学情報の発信「古代歴史への誘い」事業(出前講演)の実施

文化財主事が県内外に出掛け、鳥取県の優れた埋蔵文化財に関する講演(1月31日現在 県内9回、県外2回で 延べ11人)を行い、鳥取県を全国にアピールした。

県内出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
鳥取市	青谷上寺地遺跡の最新調査成果	35名
鳥取市	考古資料からみた中世の佐治	20名
鳥取市	国史跡青谷上寺地遺跡の魅力	60名
日南町	「魏志倭人伝」と青谷上寺地遺跡	40名
日南町	3万年前のムラ ～豊成叶林遺跡～	20名
日南町	考古学の基礎の基礎	40名
日南町	日南町の遺跡 ～霞17号墳を中心に～	30名
湯梨浜町	砂に埋もれていた大集落「長瀬高浜遺跡」の紹介	20名
日南町	古代・伯耆の製鉄遺跡	60名

県外出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
島根県	弥生の鉄 ―青谷上寺地遺跡出土遺物を中心に―	40名
愛媛県	「豊成叶林遺跡」の発掘調査	30名

キ 「こども考古学教室」事業(「こども考古学教室―弥生の音色―」)の実施

学校の要望を受けて小学校へ出向き、青谷上寺地遺跡から出土した楽器の複製品を用いて出前授業を行った。

実施学校名	対 象	人 数
鳥取市立美和小学校	6年生及び教諭	35名

鳥取市立賀露小学校	6年生及び教諭	48名
鳥取市立国府東小学校	6年生及び教諭	23名
鳥取市立鹿野小学校	6年生及び教諭	29名
鳥取市立浜坂小学校	6年生及び教諭	84名
鳥取市立福部小学校	5年生及び教諭	35名
鳥取市立青谷小学校	4年生及び教諭	51名

ク 青谷上寺地遺跡土曜講座及び青谷上寺地遺跡フォーラムの開催

主に地元の方を対象に、最新の調査研究成果を踏まえながら青谷上寺地遺跡の持つ魅力を職員が語る「土曜講座」と、多くの方に青谷上寺地遺跡の調査研究成果と魅力を伝えるためのフォーラムを開催した。土曜講座は鳥取市青谷町総合支所多目的ホール、フォーラムは同町の研修施設「ダイキシアレス青谷」を会場として行った。

土曜講座一覧及び青谷上寺地遺跡ミニフォーラム

	開催日	内 容	参加人数
第1回	6月2日	弥生人のお墓	24人
第2回	7月28日	日本海をめぐる弥生人の交流	34人
第3回	10月6日	弥生の海人2	26人
第4回	12月8日	今年度発掘調査の最新成果	24人
第5回	2月16日	弥生の船 海をかける	36人
フォーラム	9月29日	海を渡った鏡と鉄～青谷上寺地遺跡の交流をさぐる～	134人

ケ 発掘調査現場の公開

遺 跡 名	調査（公開）期間
青谷上寺地遺跡	6月12日～12月20日
下甲退休原第1遺跡	4月11日～12月20日
赤坂小丸山遺跡	4月9日～11月16日
殿河内上ノ段大ブケ遺跡	4月9日～12月9日
殿河内ウルミ谷遺跡	4月9日～12月20日
西坪中中畝遺跡	4月11日～11月30日
会下・郡家遺跡	7月19日～12月20日

コ 発掘調査現地説明会の開催

遺 跡 名	日 時	人 数
青谷上寺地遺跡	10月27日（土）午前11時・午後1時30分から	202人
赤坂小丸山遺跡 下甲退休原第1遺跡	11月4日（日）午後1時30分から	63人
殿河内上ノ段大ブケ遺跡 殿河内ウルミ谷遺跡	11月11日（日）午後1時30分から	36人
西坪中中畝遺跡	10月28日（日）午後1時30分から	24人
会下・郡家遺跡	11月23日（金・祝）午後1時30分から	90人

(2) 常設展示の見学者数

(平成25年 1月31日現在)

ア 埋蔵文化財センター展示室

一 般	児童・生徒	合 計	備 考
468人	205人	673人	一 般 … 個人455人、団体 13人（1件） 児童等 … 団体205人（8件）

イ 青谷調査室収蔵展示室

一 般	児童・生徒	合 計	備 考
227人	67人	294人	一 般 … 個人159人、団体68人（2件） 児童等 … 個人 0人、団体 67人（ 2件）

2.4 埋蔵文化財関係職員等の研修

(平成25年1月31日現在)

(単位：日、人)

研修名	計画 (A)			実績 (B)			(B) - (A)		内容及び会場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
遺跡調査検討課程	H24.6.16	1	60	H24.6.16	1	81	1	21	＜内容＞最新の発掘調査の事例発表や講演を通して、発掘調査に必要な知識や技術の向上を図った。 ＜会場＞とりぎん文化会館
遺物調査検討課程	H24.7.14	1	40	H24.7.14	1	40	1	0	＜内容＞講演や事例発表によって鳥取県内における弥生時代の木製農具を検討し、知識の向上を図った。 ＜会場＞秋里分室
合計	-	2	100	-	2	121	2	21	

2.5 文化財保護の資料収集及び活用状況

- ・写真資料のデジタルデータ化（7月末完了）

埋蔵文化財発掘調査の成果品であるポジフィルムが経年劣化する以前に画像をデジタルデータ化し、コンパクトディスクへ保存した（15遺跡の約3,200枚を実施）。

2.6 出土品の整理及び公開状況

- (1) 土器の復元

展示等の普及啓発で活用するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元した（6遺跡18点）。

- (2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会場	会期	内容
来て！見て！！さわって！！とっとり発掘速報展	イオン鳥取北店	H24.7.27~31	県内の遺跡の内、青谷上寺地遺跡（鳥取市）、殿河内上ノ段大ブケ遺跡（大山町）、坂長第6遺跡・坂長第7遺跡（伯耆町）を出土品と写真パネルで紹介した。なお、青谷上寺地遺跡、桂見遺跡・岡益廃寺（以上鳥取市）、長瀬高浜遺跡（湯梨浜町）、笠見第3遺跡（琴浦町）、法城古墳（南部町）の出土品をタッチングする体験コーナーを開設した。
とっとり発掘物語展	日南町美術館	H24.11.10~12.9	県内の発掘調査された遺跡のうち主な10遺跡、約150点の出土品（青谷上寺地遺跡、豊成叶林遺跡、桂見遺跡、梅田萱峯遺跡、霞17号墳、内ノ倉山横穴群、下市築地ノ峯東通第2遺跡、帝国製鉄砥波工場、宮内蛇巻遺跡、下石見棚谷遺跡の発掘調査成果）を展示した。
埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	H24.4.1~H25.3.31	埋蔵文化財センターの収蔵品である青谷上寺地遺跡、桂見遺跡、南原千軒遺跡、笠見第3遺跡、湯坂遺跡、長瀬高浜遺跡、岡益廃寺などから出土した土

			器等を展示し、来所者へ向け県内の遺跡について情報発信をした。
埋蔵文化財センター 青谷調査室収蔵展示 室常設展示	埋蔵文化財センター 一青谷調査室収蔵 展示室	H24, 4, 1~H25, 3, 31	青谷上寺地遺跡で出土した木製品を中心に収蔵を兼ねて約300点を展示公開している。また、ETV特集で取り上げられ、NHKから寄贈を受けた人間国宝製作の作品3点と、その際に併せて復元製作された鉄製品をはじめ、緑土が塗られた楯の復元品、新しく作製したレプリカや過年度に保存処理が終了した木製品についても展示公開している。

(2) 埋蔵文化財センター古代祭りの開催

模擬発掘体験コーナーやパズル土器タイムトライアルコーナーなどの体験型イベントを体験していただいた。

(3) 出土品等の貸し出し

ア 展示への貸出

貸出先	貸出物
鳥取県立博物館	青谷上寺地遺跡出土遺物レプリカ、桂見遺跡出土縄文土器深鉢ほか 計18点
発掘された日本列島展(文化庁)	本高古墳群出土鏡ほか 計21点
鳥取市県立博物館	青谷上寺地遺跡出土星雲文鏡ほか 計139点
荒神谷博物館	青谷上寺地遺跡出土木製琴板ほか 計4点
兵庫県立考古博物館	青谷上寺地遺跡出土ト骨ほか 計5点
島根県立古代出雲歴史博物館	青谷上寺地遺跡出土木製容器ほか 計7点
但馬国府・国分寺館	青谷上寺地遺跡出土鳥形木製品ほか 計2点

イ 写真ネガ等の貸出

貸出先	貸出物
仁風閣	布勢鶴指奥墳墓群写真ほか 7点
米里誌編集委員会	空山10号墳線刻壁画写真ほか 2点
鳥取県教育文化財団	小畑古墳群出土土器写真 1点
TCCテレビ	湯坂1号墳丘墓写真 1点
第30回全国都市緑化とっとりフェア実行委員会	桂見遺跡出土丸木舟写真 1点
朝日新聞	赤坂小丸山遺跡写真ほか 2点
鳥取県立博物館	青谷上寺地遺跡SD38写真ほか 16点
毎日新聞	長瀬高浜遺跡1号墳埋葬施設写真ほか 2点
中日新聞	青谷上寺地遺跡ト骨写真 1点
新潮社	青谷上寺地遺跡出土かご写真 4点
鳥取県立公文書館	青谷上寺地遺跡出土土玉写真ほか 3点
童心社	青谷上寺地遺跡出土貨泉写真ほか 12点

株式会社エムアンドエムドットコー	青谷上寺地遺跡出土木製容器写真ほか 18点
産経新聞	青谷上寺地遺跡出土石製品写真 1点
個人	青谷上寺地遺跡出土木製琴写真 1点
個人(デンマーク在住)	青谷上寺地遺跡出土木製容器写真ほか 2点
鳥取市青谷町総合支所	青谷上寺地遺跡第14次調査道路遺構写真 1点
鳥取県立むきばんだ史跡公園	青谷上寺地遺跡出土人骨写真ほか 18点

ウ 出前授業等への貸出

貸出先	貸出物
鳥取市教育委員会	石鏝づくり道具一式 23セット
鳥取大学地域学部	火起こし道具一式 13セット
鳥取市立湖南学園	火起こし道具一式 10セット
鳥取県立博物館	石鏝づくり道具一式 22セット
個人	火起こし道具一式 6セット
個人	火起こし道具一式 10セット
個人	火起こし道具一式 1セット
個人	火起こし道具一式 4セット
鳥取市立河原第一小学校	火起こし道具一式 5セット

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

該当なし